

小さな年ちゃん

小川未明

青空文庫

ある日、小さな年ちゃんは、お母さんのいいつけで、お使いにいきました。

「ころばないようにして、いらっしやい。」と、お母さんは、おっしやいました。

年ちゃんは、片手に財布を握り、片手にふろしきを持って、兄さんのげたをはいて、引きずるようにしてゆきました。

お豆腐屋の前に、大きな赤犬がいました。年ちゃんは、その前を通るのが、なんだかこわかったのです。けれど、赤犬は、あちらを向いていました。年ちゃんは、その間に前を過ぎて、お菓子屋へ着きました。

「まあ、坊ちゃん、お一人で、えらいですこと。」と、お菓子屋のおばさんは、ほめて、お菓子をふろしきに包んでくれました。年ちゃんは、帰りに、またお豆腐屋の前を通らねばなりません。赤犬が、あちらを向いていてくれればいいがと思いました。けれど、今度は、赤犬は、じつと年ちゃんの顔を見ていました。年ちゃんは、胸がどきどきしました。急いで、その前を通ろうとして、駆け出すと、石につまずいて、ころんでしまいました。年ちゃんはこわくなつて、我慢がでさずに泣き出してしまいました。すると、大きな赤犬がやってきて、年ちゃんの顔をべろりとなめました。二度びつくりしたので、年ちゃんは、泣きやんで、目を開けて、赤犬を見ると、やさしそうな目つきをして、尾を

振ふつていました。

年としちゃんは、まつたく、赤あかいぬ犬が好すきになりました。それから、

お友ともだちが、赤あかいぬ犬を怖おそろしがると、年としちゃんは、

「赤あかいぬ犬は、やさしい、いい犬いぬなんだよ。」といつつて、いつつも赤あ

犬かいぬの弁護べんごをしました。そして、お使つかいにいつつて、お豆とうふや腐屋まえの前に

に、赤あかいぬ犬の姿すがたが見みえなかつたとき、年としちゃんは、どんなにさび

しく思おもつたかしれません。

ある日ひ、兵隊服へいたいふくをき着た、二人ふたり連りづつのおじさんが、お薬くすりをうり

にきました。一人ひとりのおじさんは、松葉まつばづえをついて、往おうらい来らいの上うえ

で、なにか大おおきな声こえをだ出だして、わめいていました。きつと、戦せん

争う争うにいって傷きずついてきたのだといいつていたのでしよう。

ひとり一人のおじさんは、一軒けんごとにお家うちへ入はいつていきました。みんな、気きの毒どくに思おもつて、薬くすりを買かつてああげるだらうと、年としちゃんは思おもつて、その後あとについていいつて見みていいました。

すると、女じよちゆう中ちゆうさんが出でて、

「いま、お留る守すですから。」と、いいつて、断ことわつていいました。

年としちゃんは、先さつき刻き、この家いえのおおばさんがいらしつたのに、なんでうそをつくのだらうと思おもつていいました。

おじさんは、その家いえを出でて、お隣となりへいいきました。お隣となりも、

「いま、お薬くすりがありますから。」と、いいつて、断ことわつていいました。

おじさんは、ななにか、ぶぶつぶついいながら、その家いえを出でました。

今度は、しず子さんのお家です。いつのまに、だれかご門の戸にかぎをかけたのか、おじさんが開けようとしても、戸は開きませんでした。

これを見ていた年ちゃんは、この薬箱を下げたおじさんが、かわいそうになりました。このとき、年ちゃんは自分の家のお母さんは、このおじさんから、お薬が買ってあげるだろうと思いましたが、

「おじさん、僕の家は、あすこよ。」と、年ちゃんは小さな指で、自分の家を指して、おじさんに教えました。

おじさんは、年ちゃんの顔を見ました。

「お坊ちゃんのお家は、あすこですか？」

「僕の家は、あすこよ。」

「坊ちゃんは、いい子ですね。」

おじさんは、青い顔にさびしい笑いを浮かべて、年ちゃんの頭をなでてくれました。しかし、おじさんは、せつかく年ちゃんが教えたのに、年ちゃんのお家へは寄らずに、いつてしまいました。「どうして、おじさんは、僕の家だけ寄らないのだろうな？」と、年ちゃんは、不思議に思いました。

「あんな、いいおじさんを、なんでみんながきらうのだろうか。」と、いうことも年ちゃんには、わからないので、いつまでも、ほんやりと道の上に立つて、あちらをながめていました。

年ちゃんにだけ、赤犬のやさしいのがわかりました。

とし
年ちゃんにだけ、薬くすり売りのおじさんのやさしいのがわかった
のです。

なぜなら、年としちゃんがやさしいから。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 11」講談社

1977（昭和52）年9月10日第1刷発行

1983（昭和58）年1月19日第5刷発行

底本の親本：「小学文学童話」竹村書房

1937（昭和12）年5月

初出：「愛育」

1937（昭和12）年3月

※表題は底本では、「小《ちい》さな年《とし》ちゃん」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2016年6月10日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

小さな年ちゃん

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>